

nano tech 2004 への参加報告

㈱ニューガラスフォーラム

上杉 勝之

Report on nano tech 2004

Katsuyuki Uesugi

New Glass Forum



多数の来訪者



来訪者

1. 趣向を加えたナノガラス展示

昨年の2月に千葉：幕張メッセで開催された第1回のナノテクノロジー国際会議・展示会「nano tech 2003+Future」は、約2万5千人の入場者を数え、名実共に世界最大のナノテクノロジーフェアに躍り出たのです。第2回目は東京ビッグサイトに場所を移して、3月17日（水）から3日間開催されました。参加者は、国内

198 企業・大学・団体と海外 18 カ国 62 企業・団体にのぼり、入場者も3万2千人強へと大幅に増加して、今回も大成功でした。「ナノガラス」は、前と同様、NEDOゾーンの24ブースの1つとして展示しました。前回の開催から1年あまりと間隔が短いにもかかわらず、新規の試料や展示デバイスの増加、液晶パネルディスプレイを使った説明などに工夫を凝らしたので、前回より良くなったとの声が多くありました。NEDOが昨年実施した5テーマの中間評価で、ナノガラスが一番高い評価点をもたらしたことも、展示に勢いを増したのかもしれない(写真1, 2)。

〒104-005 東京都港区新橋2-12-15
田中田村町ビル8階
㈱ニューガラスフォーラム
TEL 03-3595-2775
FAX 03-3595-0255
E-mail: uesugi@ngf.or.jp

2. 2年連続の受賞

今年も昨年同様、NEDO表彰がありました。これは、2日間の入場者に対して、NEDOプロジェクトブースに出展した技術に関するアンケートを行なって、①最優秀技術賞②独創技術賞③事業化有望技術賞を決定するものです。結果は、①はナノ粒子(勸化学技術戦略推進機構)、②はナノガラス(㈱ニューガラスフォーラム+産総研関西センター)、③はナノコーティング(勸ファインセラミックセンター+産総研)でした。最終日の午後1時過ぎに表彰式が展示会場のメインシアターであり、田中修平ナノガラス研究管理室長がNEDO西田参事から表彰を受けました(写真3)。今年は賞状に加えて、三角錐のクリスタルガラス中に、地球に立つ女神の立体像をレーザーで描き込んだトロフィーを頂きました(写真4)。これとは別に、企業出展から選んだ表彰があり、日立製作所がナノテク大賞を受賞しています。ちなみに、昨年は、①はカーボンナノチューブで、NGFと産総研関西センターは共同で②③を獲得していま



独創技術賞授与式
中央：NEDO 西田参事，右：フォーラム田中室長



表彰状(独創技術賞)と副賞(ガラスオブジェ)

ナノガラスの出展者・説明員と展示品

| 出展者 | 展示品 | 説明員 |
|---|---|--|
| ㈱ニューガラスフォーラム つくば研究室 | 1. 3次元光回路形成技術 2. 低損失・高Δ光導波路 3. 高強度ガラス | 田中, 井本, 岩野, 黒岩, 武島, 長田, 成田 |
| ㈱ニューガラスフォーラム 大阪研究室 ㈱産業技術総合研究所関西 センター | 1. 超微粒子分散蛍光ガラス 2. 極微分波器 3. 気孔配向膜及び導電性ハイブリッド膜 4. 純シリカ屈折率分布型微小レンズ 5. ナノ粒子分散アサermalガラス | NGF: 川部, 菊川 産総研: 西井, 福味, 北村, 村瀬, 山下, 李 |
| 日本板硝子(株) | 1. ウェットエッチング法によって作製した微細加工 ガラス 2. 精密加工ガラスマイクロプレート 3. レーザ加工用ガラス | 常友, 斎藤, 池内, 小用, 岡本, 有馬, 中村(浩) |
| 日本山村硝子(株) | レーザー照射によるナノ結晶化を応用したガラスへの書 込み及び読み出し技術 | 橋間 |
| (株)日立製作所 日立研究所 | 集光機能ナノガラス薄膜を形成した高密度光デスク | 内藤, 山本 |

す。ナノテク大賞は日本電気でした。ナノガラスは、おかげさまで2年連続の受賞です。大いに誇れます。これは、単に展示のみならず、プロジェクト参加企業や大学の先生方と進めている研究成果そのものへの評価だと認識しています。この場を借りて関係者の皆様へお礼申し上げます。

3. こぼれ話

NEDOは、今年も本展示会用にビデオを作りました。この中で、最初にナノガラスプロジェクトが10分間にもわたって紹介されていました。メインシアターの大画面に、普段見慣れた産総研・西井、日立の内藤、山本などの各氏が大写しされ、最後にプロジェクトリーダーの平尾京大教授が一言締めくくっていました。聞く所によると、NEDO内の試写で、ナノガラスが長すぎるのではないかと担当者が諮ったところ、責任者の部長がこのままで良からうとの判断を下したそうです。また、平尾教授はこの他に、移転先の桂・新キャンパスで寒中一日撮影したのですが、機器の故障からフィルムが没となったとの事です。ところで、昨年、ナノガラスブースで、プロジェクト紹介ビデオを流そうと、当オフィスのブラウン管テレビを持ち込んだところ、他のブースの全てが平面ディスプレイであることが分かり、開館直前に慌てて取り去ったお粗末があったので、今回は会員会社のハリオグラス社から液晶パネルディスプレイを借りて、10分間のオリジナルDVD「ガラスの先端技術」を流すことにしました。あのガラスバイオリンを作った会社です。そこで、人形町の本社にセットを取りに行った時、周囲を

コリント式円柱で飾った、ローマ時代の建物のようなコンクリートビルに驚かされました。聞けば、歴史ある銀行ビルを買い取ったとのこと。家庭用ガラス製品を売るハリオ社は、文化香るビルがふさわしいこと、又、創業の地に戻ることであり、社長の判断で3年前に江東区から引っ越されたとの事です。一階フロアは、商品展示場のため入れますので、皆さんにも是非一見を勧めます。今回の展示会で一点残念だったことは、経費削減のためとはいえ、つくば研究室の研究員の皆様に、搬入作業で不自由を掛けてしまったことです。研究費はNEDOから出ますが、展示費用は管理費区分のため、プロジェクト参加企業からの分担金でまかなわなければならない苦しい台所事情からです。NEDOの支援があれば助かるので、NEDOアンケートにはそう書いておきました。たまたま、会場でNEDOの担当者K氏に会ったので、これ幸いと訴えました。この他、閲覧用と書いて受付机に並べておいた当機関紙「NEW GLASS」が初日の閉館間際持ち去られるという、うれしき半分、怒り半分のハプニングもありました。

ともあれ、産総研とNGF及び出展3社の積極的な参加姿勢、参加機関の研究員による手厚い説明、NGF本部と出展者とのスムーズな準備等により、今回の展示も大成功でした。ちなみに、NGF持ち出しによる展示経費は50万円強でした。

なお、第3回は、2005年2月23日(水)から3日間と既に決まっています。次回の展示会に対しても、関係者の皆様の御協力を是非ともお願いいたします。